

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成22年11月24日（木） 19：00～20：30

ところ：総合福祉会館

団 体：NPO法人 緑の風 10名

【団体】

緑の風は平成21年11月に設立した新しい団体です。会員は13名ほどですが、今後、会員を積極的に募集していきたいと思っています。

活動内容は緑環境の保全や公園の管理、それらを利用した自然体験などが大きな柱となっています。

今年は子育て世代向けのプログラムとして、「大垣公園で遊びつくそう」、また、高齢者の健康増進を目的とした「大垣公園を歩きつくそう」という二つのプログラムを開催しています。

開催日は毎月第1日曜日に駅通りで行われている「元気ハツラツ市」に合わせており、毎回多くの皆さんに参加していただいています。

私たちが大垣公園で実施している「公園で遊びつくそう」は大垣市が掲げている子育て日本一に貢献できていると思いますし、「公園で歩きつくそう」はかがやきライフだと思っています。今後も自然体験、公園などの緑化保全などを通じてまちづくり、人づくりに取り組んでいかなければいけないと思っています。

【団体】

以前、自然体験のために上石津で「秘密基地あそび」というプログラムをやっていたことがあります。旧市内にも森林などがあれば森林の中でのプログラムも可能でしたが、森林ではなく川がありますので、子どもたちに川遊びをさせてあげたいと思っています。

昔の子どもたちは川で遊んでいたのに、今の子どもたちは川遊びができない状況になっていますので、昔の水遊びが水



門川などでも復活できればと思っています。

【市長】

大垣市の森林面積は合併によっては3%から53%に拡大しましたが、旧大垣市内は自然体験、森林体験ができる場所が少ないため、私も子どものころには、魚をつかまえるなどして川遊びを楽しんだ記憶があります。

【団体】

この近辺では唯一の自然体験施設であった関ヶ原自然の家や岐阜県内のその他の施設が閉鎖されてしまいましたので、乗鞍青年の家などまで行かないと体験施設がありません。近くに施設があれば学校の体験学習としてキャンプが実施でき、子どもたちの自然体験が可能になると思いますが、大垣市には自然を体験できる施設がないのが残念です。

【市長】

関ヶ原自然の家は歴史・文化を体験すると同時に自然を体験できるすばらしい施設でしたが、県の財政事情により閉鎖されてしまいました。

大垣市としては奥養老を活用したいと考えていますが、施設が小さく収容人員が80人ほどと少ないため、小学校で体験に行くには、収容できないため残念です。今は、青墓地区の野外活動センターで自然体験ができる事業などが実施されています。

将来、大垣市もガーデンシティとなるように、公園を増やそうと整備をすすめてはいますが、木を多くすると周りから見えなくなり、防犯上よくないのではないかという意見もあったりして、なかなか緑を増やすことが困難であり残念な状況です。

【団体】

公園を整備し、子どもだけで遊ぶことも大切だと思いますが、公園に指導者を配置するなどのソフト面の充実も必要だと思います。このままでは、遊び方を知らない子どもたちが増え、遊びの文化が衰退してしまう恐れがあると思います。

【市長】

テレビゲームの方が面白くなって、自然の中で遊ぶ子どもが減っていることは事実ですね。子育て支援としても公園を整備していますが、利用者が少ないという状況になっていて残念です。



【団体】

最近では室内の遊びしか知らない子どもたちばかりになっていきますので、自然の中で遊ぶ場を提供して、親子で参加してもらえようような機会を作っていくかと思っておりますし、そういうことを考えながら、公園の利活用を考えていくことが必要です。

【市長】

みなさんには大垣公園を活用して、いろいろなプログラムを提供していただき本当にありがとうございます。以前の大垣公園は森があるという点ではよかったのですが、治安上の観点から芝生広場に改修させていただきました。改修後は今までより遊びやすくなったという声を聞いたことがあります、いかがですか。

【団体】

ヒコーキを飛ばすプログラムを芝生広場でやりました。以前は大垣城ホール内でやっていましたが、芝生広場でやったところ、広い中でヒコーキを飛ばすことが、参加してくれた親子に大変好評で、子どもたちが自由に駆け回り、楽しかった、気持ちよかったと言ってもらえました。

中心市街地に芝生広場がありますので、これから利活用をもっと考えていきたいと思っております。

【団体】

鳥取県では校庭、園庭、公園などを芝生化しようという取り組みがされております。そこでは学校、地域、家庭、行政、NPOが連携して芝生化し、自治会を中心とした地域の方々が維持管理を行う方式をとっており、あまりコストをかけずに芝生化を行い、鳥取方式と呼ばれています。

先日、養老町の保育園が芝生化するということで指導に行きました。そこでは親子、地域、行政などが集まりみんな一緒に保育園に芝を植えていきました。芝生の遊び場を整備するだけでなく、地域の人たちが芝生の管理に協力していく体制が出来上がっていました。

【市長】

東京都も学校のグラウンドなどを芝生化することをやっていますので、芝生化していくことは、大変いいことだと思いますが、維持管理などの面が問題になってきますので、地域の方の協力が必要になってきますね。

【団体】

岐阜市の保育園を見させてもらったことがあります。園庭が芝生化されており、きれいに手入れされていました。そこでも管理は地域の方がやっておられるということでしたので、地域の方の協力が必要だと思いました。そういうシステムが構築されれば、維持管理に費用がかからずにできるのではないのでしょうか。

養老町も自治会などを中心とした地域の方々が維持管理をやられていますので、それほどお金をかけずに芝生化ができていますようです。

【市長】

残念ながら、大垣は子どもたちの遊ぶ芝生公園や森林公園などの施設は少ないかもしれませんが、杭瀬川や赤坂などのスポーツ公園が多くありますので、県外チームを招待しての野球大会などが盛んに行われています。大垣ほど野球のグラウンドが多いところも珍しいのではないかと思います。



【団体】

小学校の放課後にグラウンドで遊んでいる姿をこの頃は見かけなくなりました。放課後に遊びを教える指導者や子どもたちと一緒に遊ぶような地域の人たちがいてくれるといいのではないかと思います。登下校時には地域の方の協力がありますから、放課後におじいさん、おばあさんたちがグラウンドで子どもたちと遊ぶことができるようになればいいのではと思います。

【市長】

そうですね。子どもたちが外で遊ぶ姿をあまり見かけなくなりましたね。

大垣市が地区センターで実施している子育てサロンにはたくさんの方が集まり、

子育ての悩みを打ち明けたり、情報交換したりしていますが、公園などには人が集まらないですね。本来は、公園などに親子が集まり、情報交換できる場になるといいですね。

【団体】

今の子どもたちの親は、テレビゲームで育ってきた世代になりつつあり、親も自然体験をしたことがない人が増えています。ある自然体験活動を実施したときにも、子どもだけでなく、親も初めてこんな経験をしたという人が多く、子どもだけでなく、親の方が楽しんでいることがよくあります。

旧上石津町と合併して森林体験ができる環境が整っているのです、これから上石津の方々と交流を図り、自然体験のできる場を提供していけたらいいと思っています。

【市長】

上石津町と合併したことで、森林だけでなく、水嶺湖、日本昭和音楽村など大垣にないものを得ることができましたので、今後は大いに活用していきたいと思っています。また、今度は温泉の活用も考えていかないといけないと思っています。



【団体】

公園設備の点検に行くことがあるのですが、雑草が生い茂り、荒れていることがあります。また、遊具も老朽化しているため、子どもが遊べるような状態になっていない公園もありますので、老朽化した遊具は撤去して、芝生広場だけにしようでしょうか。何も無いところの方が子どもたちは工夫して上手に遊べるのではないかと思います。

【市長】

公園も計画的に整備しすぎると、逆に子どもたちの遊びの文化がすたれてしまうことが考えられますね。手を加えずに、自然を残しながら整備することも大切なことですね。

公園は災害時の避難場所になったり、子育て支援の場所になったりするので、いろいろな面から検討して整備をすすめていきたいと思っています。

【団体】

小学校の依頼でカヌーの体験教室をやったことがあります。川で開催する予定でしたが、川は危ないということになり、プールでカヌーの体験をやりました。子どもたちは川で遊びたいと思っていますが、川は危険だということを言われる方が多いです。川は危険なものではなく、付き合い方によれば、いい遊び場になりますので、指導者が監督する中で遊ばせてあげたいと思っています。

【市長】

治水対策には予算をかけて取り組んでいますが、自然がなくなり子どもたちが遊べる場所を奪ってしまっていることもありますので、自然を生かしながら安全対策を行い、遊び場を提供していかなくてはけませんね。

自然体験の大切さ、緑のまちづくりなど、いろいろとご意見を伺うことができました。ありがとうございました。